

# いわた IWATA 市議会だより

平成28年  
2016  
5月1日発行  
No.55

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
編集／市議会広報広聴委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845 (議会事務局)



## ～市民が集う場所に～ 磐田駅北口広場が完成

23年度から整備を行ってきた磐田駅北口広場が完成しました。大クス周辺の多目的広場はWi-Fiエリアとなり、市のイメージキャラクター「しっぺい」の像や七重の塔のモニュメントが設置されるなど、市民の皆様にとって、親しみやすく、集いやすい場所となりました。

## 2月定例会

市議会は、平成28年2月定例会を2月25日から3月24日までの29日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成28年度各会計予算や行政不服審査法施行条例の制定など55議案のほか、意見書等について慎重に審議しました。その結果、すべて原案のとおり可決・承認・同意しました。

なお、一般質問は、3月4日・7日・8日の3日間にわたり13名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたどりました。

## 主な内容 (ページ)

- 28年度一般会計予算 (説明・討論) …… 2～3
- 28年度特別・企業会計予算 (説明・討論) …… 4
- 市立児童館条例の廃止、意見書ほか …… 5
- 一般質問 (13名) …… 6～11
- 市議会にお寄せいただいたご意見 …… 11
- 審議結果、5月臨時会の予定 …… 12



## 平成28年度 各会計予算

### 一般会計

会計名	平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減
一般会計	616億6,000万0千円	622億7,000万0千円	△6億1,000万0千円

### 特別会計

会計名	平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減
国民健康保険事業特別会計	197億9,898万2千円	196億7,704万2千円	1億2,194万0千円
後期高齢者医療事業特別会計	15億7,503万9千円	14億4,283万4千円	1億3,220万5千円
介護保険事業特別会計	119億4,904万1千円	114億6,810万0千円	4億8,094万1千円
公共下水道事業特別会計	66億1,314万8千円	63億5,692万9千円	2億5,621万9千円
その他の特別会計※	2億6,177万7千円	2億5,742万8千円	434万9千円

※その他の特別会計には、駐車場事業、農業集落排水事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

### 企業会計

会計名		平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減	
水道事業会計	収益的	収入	27億4,229万3千円	27億8,136万2千円	△3,906万9千円
		支出	26億8,116万2千円	26億3,857万5千円	4,258万7千円
	資本的	収入	6億8,360万7千円	6億6,410万9千円	1,949万8千円
		支出	16億1,126万0千円	15億4,358万9千円	6,767万1千円
病院事業会計	収益的	収入	161億4,591万6千円	157億7,553万7千円	3億7,037万9千円
		支出	166億1,805万6千円	160億5,462万5千円	5億6,343万1千円
	資本的	収入	14億 19万2千円	12億9,913万7千円	1億 105万5千円
		支出	23億 24万0千円	22億3,325万9千円	6,698万1千円

【収益的収支】  
収益的収入は、水道事業の水道料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。

【資本的収支】  
主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

税中止を求めざるべきである。改善点として、①原発ゼロの政治的方向性を示すこと②木造住宅耐震補強工事補助金に対する前向きな姿勢を持つこと③新駅設置事業で、各家庭への割り当て寄附はやるべきではなく、市もその立場で対応すること④財政調整基金を市民生活向上のために優先

## 一般会計予算に 対する討論

施設一体型の学府一体校  
整備構想など問題が多い予算

反対（共）

反対の理由を述べる。①小中一貫教育の施策のもと、施設分離型から一体型にしようとしている②保育所の正規職員が5割を切っている。正規雇用を増やすよう処遇改善が必要である③児童館解体費等があるが、児童館のあり方について市民的議論が必要であった④学校給食は教育の一環であり、学校給食の民営化、単独調理場の民間委託には賛成できない⑤マインバー制度は国民のプライバシーを危険にさらすもので問題である⑥消費税10%への引き上げに対し、市長は増

的に使う財政運営を求める。以上により反対する。

市民理解を得て、  
公平・明確な公費支出を

賛成（き）

28年度予算は市民生活向上のため、将来の市勢発展のために多方面に目配り、気配りをした予算編成がなされている。しかし、より市民の理解を得るためには、公平性の観点から、その経過や根拠等について、より明確にする必要がある。特に新たに取り組む事業については慎重な配慮が求められる。

次世代型農水産業立地推進事業は、将来の市の姿を考えたとき、主要な事業の一つであると考える。しかし、事業推進のための補助制度や公用地の利用、開発にかかる文化財発掘調査経費等の基準が、現時点では十分に説明されておらず、公費支出の基準の制度化等も含め、今後議論を深める必要がある。公費の支出に当たっては公平かつ明確であることが求められる。本事業の制度内容を明らかにし、議会を初め市民の理解を得ることが必要と考える。

以上のことに留意するよう、

意見を付して賛成する。

子育て・地域力の向上に  
つなげる予算編成

賛成（新）

予算編成では3つの重点目標を挙げ、子育て・教育、地域力の向上につながることを期待される。「将来を担う子どもたちのために」では、小中一貫教育の推進や望ましい教育環境の実現等のための学府一体校等基本構想などが取り組まれている。児童館の機能も少子化の中で、切れ目のない子育て・教育が期待される。幼保の非正規職員の課題は、待機児童ゼロや支援員確保などに対応した結果である。給食の民間委託は調理部門のみで、食育の根幹は継続される。「市民の自立と住みよい地域をつくるために」では、24時間対応の訪問介護・看護事業所開設の支援など、市民目線の取り組みが行われる。「強い経済基盤をつくるために」では、次世代型農水産業立地推進補助制度の創設など雇用機会創出等に寄与する事業が展開され、次の10年の種まきを行う

予算編成であると思う。以上により賛成する。

特別・企業会計

国民健康保険事業  
特別会計予算

予算総額は197億9898万2千円で、27年度比1億2194万円の増額です。

内容は、保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金や保健事業費等、国民健康保険事業に必要な経費を計上したもので、主な財源は、保険税負担金、一般会計繰入金です。引き続き、国民健康保険財政の健全化と円滑かつ適正な事業運営に努めます。

賛成21(志・新・き・公)、  
反対3(共)により可決。

討論

国庫負担増を求め、  
納められる国保税に

反対(共) 反対の理由を述べる。①一般会計からの法定外繰り入れが少なく、納められる国保税になっていない。国庫負担削減により、加入者の税負担が重くなっている。法定外繰り入れを増やす必要がある②滞納世帯に対する資格証明書、短期被保険者証の

発行、財産差し押さえは問題である③国保税の引き下げが検討されなかった。国の支援金を活用すれば、国保税の引き下げは可能である。

国に国庫負担を増やすよう要請すること、一部負担金減免制度の周知・活用を促進することを求め、反対する。

市民生活を考え、  
保険税を据え置く

賛成(志) 高齢化が進み、年々医療給付費が増加している。この厳しい状況の中、20年度以降、保険税を据え置き一般会計からの繰り入れや基金の取り崩しで運用し、国保加入者の負担をできる限り軽減する経営努力で運営してきた。市民生活を考え、28年度も保険税を据え置いている。県内でも負担感は少ない一方であり、評価できる。持続可能な制度の維持は、地域の維持にとっても極めて重要である。今まで以上に、健診の啓発等を初めとした保健事業や予防の充実と組織間連携に期待し賛成する。



後期高齢者医療事業  
特別会計予算

予算総額は15億7503万9千円で、27年度比1億320万5千円の増額です。

後期高齢者医療事業の円滑な運営のため、広域連合納付金等の必要な経費を計上したもので、主な財源は、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金です。

引き続き、後期高齢者医療事業の円滑な運営に努めます。

賛成21(志・新・き・公)、  
反対3(共)により可決。

討論

受け取る年金が減少する中での  
保険料引き上げ

反対(共) 反対の理由は、保険料の引き上げである。所得割率7・85%は0・28%の引き上げ、均等割額3万9500円は千円の引き上げとなっており、歳人の保険料は27年度に比べ、1億911万6千円の増である。受け取る年金額が減少する中、保険料の引き上げは、高齢者にとって耐え難いものである。保険料が納められず、滞納世帯が増



えることも懸念される。保険料の引き上げに基づく予算であり、賛成できない。

制度の安定的な維持のため、  
保険料率改定はやむを得ない

賛成(新) 高齢化による被保険者数の増加や医療の高度化等による1人当たりの医療費の上昇が継続しており、今後も医療給付費の増加が見込まれている。また、医療給付費全体に占める保険料の高齢者負担率も上昇した。制度を安定的に維持・継続させていくためには、保険料率の改定はやむを得ないと判断する。低所得者に対する軽減措置も継続され、28年度予算も、法律に基づき妥当である。以上により賛成する。

水道事業会計予算

業務予定量は、給水戸数5万9761戸、年間総給水量2118万7598m<sup>3</sup>、1日平均5万8048m<sup>3</sup>を見込みました。収益的収入額は27億

4229万3千円、収益的支出額は26億8116万2千円を計上しました。

主な事業は、老朽管更新工事や施設整備工事等です。  
全会一致により可決。

病院事業会計予算

業務予定量は、入院患者数1日平均460人、年間16万7900人、外来患者数1日平均1210人、年間29万4030人を見込みました。収益的収入額は161億4591万6千円、収益的支出額は166億1805万6千円を計上しました。

主な事業は、病棟ナースコール設備改修や手術用顕微鏡の更新等です。  
全会一致により可決。



市立総合病院

# その他議案・意見書を可決

## 児童館を廃止する条例

福田児童館及び豊岡児童館は、健全育成を図ることを目的とした施設ですが、施設の老朽化により、28年3月31日をもって閉館することにより市内の児童館がなくなることから条例を廃止するものです。

なお、施設の廃止後については、事業の見直しを図り、他の施設で引き続き子育て支援に努めていきます。

**賛成21(志・新・き・公)、  
反対3(共)により可決。**

### 討論

## 児童館の廃止は 時代に逆行したもの

**反対(共)** この廃止条例により、本市の児童館がすべてなくなる。これまで児童館が担ってきた役割をどうしていくのか、存続を含めた議論がなく、利用者の声を聞く点も不十分である。国も子どもの新たな居場所をつくらうとしている。児童館の機能・役割

を発展させ、家庭・学校・地域との連携を強化することにより、児童館が地域の拠点として積極的な役割を果たしていくことが期待されている。この条例は十分議論されたものではなく時代に逆行するものであり、反対する。

## 子育て支援センターの さらなる充実に期待

**賛成(志)** 子どもや親を取り巻く環境の変化や地域の公

共施設の環境の変化により、児童館の機能を移転させ、子育て支援センターを充実させるものであり、非常に期待する。さらに、児童館の役割を維持するため、さまざまな連携の中、放課後児童クラブの拡充、(仮称)子ども図書館の新設、子どもの居場所づくり等に期待している。

より情報発信に注力し、子育てがしやすいまち、子どもたちが健全に育ち、いきいきと輝くまちを目指すことを期待し、賛成する。



## 27年度一般会計 補正予算(第7号)

今回の補正は、歳入歳出予算それぞれに1億6692万5千円を追加し、総額を633億6734万6千円とするものです。国の補正予算に対応するもので、主な内容は谷田川ポンプ場の新設、次世代型農水産業の立地促進に係る経費などの追加です。

### 全会一致により可決。

## ひとり親世帯等の 保育料軽減のための条例

これは、多子世帯及びひとり親世帯等の保育料の負担軽減のため、国の基準保育料が改正されることに伴い、保育園・幼稚園等の利用者負担額について、所要の改正を行うものです。

主な内容は、年収360万円未満の世帯の保育料について、従来の多子軽減における年齢の上限を撤廃するもの、年収360万円未満のひとり親世帯等の保育料について、負担軽減措置を拡大し、第1子は現行の半額に、第2子以降は無料とするものです。

### 全会一致により可決。

## 意見書を提出しました

中遠地域精神保健福祉会会長鈴木恒夫さんより、意見書の提出を求める陳情書が提出され、審議の結果、採択し、左記のとおり関係機関に意見書を提出しました。

### ◎精神障害者の交通運賃割引に関する意見書(全文)

(内閣総理大臣、国土交通大臣、衆・参議院議長あて)

障害者に対する交通運賃割引は、身体障害者については旧国鉄時代の昭和25年から、身体内部障害者は平成2年から、知的障害者は平成3年から実施されてきました。運賃割引を実施している交通機関等の事業種は、現在、JR、民間鉄道、航空、旅客船、バス、タクシーのほか高速道路に及んでいます。

しかし、精神障害者については、平成10年から11年当時、精神障害者家族の全国団体が、主としてJR運賃割引を求めて大規模な署名運動を実施しましたが、割引は実現せず、以後、全国的には一部の路線バス、民間鉄道などが割引を行うようになったものの、精神障害者に適用しないという状況は、基本的に変わっていません。

一方、近年、障害者関係の法制は、集中的に整備され、とりわけ平成26年2月に政府が批准した国際法である障害者の権利に関する条約は、その第20条で「障害者自身が、自ら選択する方法で、自ら選択する時に、かつ、負担しやすい費用で移動することを容易にすること。」と明記し、第4条で「障害者に対する差別となる既存の法律、規則、慣習及び慣行を修正し、又は廃止するための全ての適当な措置(立法を含む。)をとること。」「この条約と両立しないいかなる行為又は慣行も差し控えること。」と謳っています。

よって、障害者の権利に関する条約に照らし、身体障害者及び知的障害者と同等に精神障害者にも交通運賃割引が速やかに実現するよう、万全の施策を講じるよう要望いたします。

# — 市政を問う — 一般質問(要旨)

## 渚の交流館の運営 幼稚園・保育園の跡地

きずなの会 八木正弘 議員 (二括質問)

### 渚の交流館

**質問** 施設の運営及び全体経費を含めた市の負担は。

**答弁** 施設運営は当面直営で行い、窓口業務や施設管理業務等は委託する予定である。

初年度は、約4650万円の管理運営費を予定している。将来的には指定管理者制度への移行を見据え、経費削減に努めていきたい。

**質問** 飲食店や物販店の選定方法及び契約期間は。

**答弁** 27年7月に公募を行い、ヒアリングや書類審査等を経て、4事業者を内定している。初年度の使用期間は、規則に基づき28年4月からの1年間とした。

**質問** 日本財団のサポートの具体的な内容は。

**答弁** 施設費の



渚の交流館

として協議しており、今後も継続していく。

### 幼稚園・保育園跡地

**質問** 福田こども園に統合された3幼稚園、1保育園の跡地利用について伺う。

**答弁** 豊浜幼稚園は、半分強の敷地を利用し、交流センターの建設を予定している。西南幼稚園は、まだ決まっていない。ひまわり幼稚園は、公共施設以外には利用できないため、目的がはっきりするまでは地域の運動会等に利用することで合意した。福田保育園も最終的な方向は決まっていないが、自治会の要望を受け、園庭の利用等について協議を進めている。

一部として約1億円の寄附を受ける予定である。また、施設運営のほか、財政支援についても、今後具体的に協議を進めていく。

**質問** 隣接する袋井市との協議等は。

**答弁** 施設運営協議会や袋井市、日本財団と締結した連携協定に基づき施設運営について

## 中心市街地活性化 磐田市の諸課題

志政会 岡

實 議員 (二問一答)

### 中心市街地

**質問** 中心市街地活性化基本計画のハード事業の状況は。

**答弁** 基本計画10事業のうち、磐田駅南北自由通路、磐田駅北口広場整備など8事業が完了し、事業費総額は約340億円である。成果は、分断されていた磐田駅南北の連絡や

都市機能の整備ができたことである。

**質問** ソフト事業の状況は。

**答弁** 空き店舗対策と軽トラ市などのイベント開催支援を中心に行った。事業費総額は、合併後の11年間で約4630万円である。今後は、イベント開催の継続支援のほか、28

年度に事業を検証し、地元業者などとともに、できる取り組みを考えていきたい。

**質問** ハード、ソフトを合わせた総合的な評価は。

**答弁** 28年度の事業検証の中で行い、今後、策定される計画等に反映できるものがあるか、あわせて整理したい。



磐田駅北口広場

### 諸課題

**質問** 防潮堤の施工方法、施工順序は。

**答弁** 防災林箇所は、県が松を伐採後、市が海抜12メートル

## 安心・安全

### 行政・教育関連諸課題

公明党磐田 小野泰弘 議員 (二括質問)

### 安心・安全

**質問** 障害者差別解消法の対応要領等の策定について伺う。

**答弁** 職員対応要領は4月1日施行に向け策定を進めており、管理者の責務、相談支援体制の整備等を規定する予定である。対応指針は、国・県の指針を参考に、今後策定する予定である。

**質問** 子ども・子育て支援新制度における利用者支援事業の成果と今後の展開を伺う。

**答弁** 本市では、行政窓口で教育保育施設の相談等を行うため、主に利用者支援を行う特定型を実施し、保育園等の入園調整の促進が図られている。今後は、保健師等専門職による利用者支援と地域の連

**携等を総合的に実施する母子保健型への移行を考えている。**

**【質問】** GPS装置を使った認知症徘徊高齢者の位置検索サービスを行ってはどうか。

**【答弁】** 高齢者が常に発信機を携帯できるか等の課題や費用対効果の検討が必要である。

諸課題

**【質問】** ふるさと納税者等に一定のサービスを提供する、ふるさと住民票制度の導入は。

**【答弁】** 現時点で導入の予定はないが、磐田ファンクラブ会員への情報発信等の取り組みをさらに充実し、市外在住者との関係強化に努めたい。

**【質問】** 登録者の推移と利用状況からみた評価は。

**【答弁】** 28年1月末の磐田中央線を除く登録者数は428人で、27年4月から622人増



## デマンド型乗合タクシー（お助け号） 安心安全な暮らし

新磐田 加藤文重 議員（一括質問）

お助け号

**【質問】** 登録者の推移と利用状況からみた評価は。

**【答弁】** 28年1月末の磐田中央線を除く登録者数は428人で、27年4月から622人増

**【質問】** 各地域づくり協議会が交流を行うための体制整備は。

**【答弁】** 互いの取り組みや課題等を情報交換する研修会等の開催など、一定の水準が確保されるため、市が助言・調整の役割を果たしたい。

**【質問】** 小中学校における組体操中の事故の状況と対応は。

**【答弁】** 27年度は14件の事故があった。安全対策を一層徹底するとともに、文部科学省の指針等を踏まえ対応する。



安心安全

**【答弁】** 27年4月から10カ月間の運行経費は1035万3千円、運賃収入は277万3600円、市負担は757万9400円である。

**【質問】** 風水害発生危険性がある場合、避難所として地域公会堂等を使用することについて、市と自治会・防災会との連携は。

## 教育の諸課題 安久路調整池の活用

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員（二問一答）

教育

**【質問】** 豊田中学校区学府一校整備構想説明会の参加状況、参加者からの質問・意見は。

**【答弁】** PTA本部役員、教職員等を対象に計8回実施し、延べ163名の参加があった。子どもの成長を第一に考えて欲しいことや小中一貫教育の成果等の意見や質問があった。

**【質問】** 説明会は今後も開催すべきと考えるが見解は。

**【答弁】** 今後は、自治会長やPTA役員に各会合での説明をお願いし、その中でさまざまな意見をいただけたらと考えている。

**【質問】** 一体化校整備構想の今後のスケジュールは。

**【答弁】** 豊田中学校と豊田北部小学校を一体化として整備し、将来的に豊田東小学校を含めた一体化にする方向性について、3月をめどに各自治会からの意見を集約する。理解を得た後に、地域や保護者等で構成する協議会を設置し、基本構想を策定していく。

**【質問】** 基本構想策定に当たり、保護者や地域住民の合意をどのように図るか。

**【答弁】** 自治会連合会と協議し、避難所開設に至らない状況での自主避難は、公会堂等で受け入れていただいている。

**【質問】** 聴覚障害を持つ方々に対する自然災害情報の啓発は。

**【答弁】** 現在、ろうあ協会等と意見交換を行い、文字で情報が確認できるいわたホッとラインの登録やテレビでの情報取得を啓発している。

**【質問】** 2月8日朝、登校中の児童2人が青信号で横断中に事故に遭った。通学路の見直しや危険箇所洗い出しをすべきだが、教育長の考えは。

**【答弁】** 事故を重く受けとめ通学路の安全点検等をもとに、各学校に具体策等を考えることを指示した。各学校は、具体的な安全対策を教育委員会に報告し、実施している。

**【質問】** 福田・豊岡児童館廃止条例が上程されているが、児童館の今後の方向性は。

**【答弁】** 地域の中で見守りや子どもの居場所づくりを進めていきたい。

安久路調整池

**【質問】** 安久路調整池のトイレ整備計画について伺う。

**【答弁】** 現状ではトイレ設置の予定はない。ひょうたん池を訪れる人を含めた利活用を考えた中で検討していきたい。

**【質問】** 安久路調整池のトイレ整備計画について伺う。

**【答弁】** 現状ではトイレ設置の予定はない。ひょうたん池を訪れる人を含めた利活用を考えた中で検討していきたい。



# スポーツのまちづくり 子育て支援・教育

志政会 高田正人 議員（一括質問）

## スポーツ

**質問** 東京オリンピックのサーフィン会場誘致を目指す本市の取り組みは。

**答弁** 市民による誘致活動の支援と情報収集を行っている。誘致活動は地元サーフィン競技団体からの要望が発端で始まったが、この活動をオリニピック会場誘致に限定するのではなく、幅広い継続的な市民活動となるよう、さまざまな大会を豊浜海岸で開催し、まちづくりに生かせるよう関係団体と協議している。



正式種目決定・誘致  
応援ポスター

**質問** サッカー・ラグビー・卓球等の地域資源を有効に発信し、活性化に生かす考えは。

**答弁** 今後これらの情報を市内外に発信し、本市の魅力を広げていきたい。

**質問** 子育て支援センターの

運営上の課題と対策は。

**答弁** 相談内容が多岐にわたり、保育士等でも対応し切れない相談が増えている。28年度から定期的に保健師・栄養士・歯科衛生士がセンターを

## 暮らし応援の市政 の諸課題と市民要望

日本共産党いわた市議員 根津康広 議員（二問一答）

### 暮らし応援

**質問** 消費税10%増税は、どの貧困層にも容赦なく襲いかかる税である。家計と個人消費、市内中小零細業者への打撃は間違いないが、見解を伺う。また、国に増税中止を求める考えは。

**答弁** 29年4月からの消費税増税については、低所得者層に対する十分な配慮の検討をお願いしたい。なお、国に増税中止を求める考えはない。

**質問** 子どもの貧困が年々深刻になっている。給付型奨学金制度を国に要望すべきと考

巡回し、専門職による相談対応を加えることを考えている。

**質問** イベント・講演会・セミナーなどに子どもを連れて参加できる仕組みや主催者の理解と参加者への周知が必要と考えるが、現状と対策は。

**答弁** 現在も託児対応しているが、より社会参加の機会が得られるよう子ども連れでの参加が可能な講演会等の周知

託児サービスの充実、家族の協力の啓発などに努めていく。

**質問** 中学生の海外派遣研修の参加者拡大の考えは。

**答弁** 26年度までは10名、27年度は12名が参加する等、参加者を増やしている。体験発表の機会をより多く提供し、海外への関心等を一人でも多くの生徒に広げていきたい。

とまり次第、基本構想をまとめ、より具体的な施設概要を協議する基本計画に移行していく予定である。市民意見は、基本構想の公表後のパブリックコメント等により聞いていきたい。

**質問** 見付・中泉地区では、デマンド型乗合タクシーの利用を希望する高齢者、通院患者から、市立総合病院まで直通で行ってほしいとの要望が多数ある。見解は。

**答弁** 必要性は認識しており、利用実態の把握やアンケートによる意見集約、既存の公共交通事業者や国・県と調整を図る中で検証を進めたい。

えるが見解は。また、市独自の制度創設について伺う。

**答弁** 国が導人に向け検討しており、今後の動向を注視したい。独自の奨学金制度創設は、現時点では考えていない。

## 国民健康保険 木造住宅耐震化事業と子育て支援

日本共産党いわた市議員 稲垣あや子 議員（二問一答）

### 国民健康保険

**質問** 国保税を引き下げる考えは。

**答弁** 20年度以降、課税限度額以外の税率改正は行わず、税収不足分を一般会計から繰り入れている現状においては、引き下げは考えていない。

**質問** 給付規則に一部負担金の減額または免除の記載があ

る。周知方法と適用例を伺う。

**答弁** パンフレット等での案内のほか、被保険者等との相談の中で周知している。なお、適用例はない。

**質問** 国民健康保険の都道府県単位化でどう変わるのか。

**答弁** 県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営等、国保運営の中心的役割を

な文化会館



市民文化会館

担う。市町は今までどおり税の賦課・徴収等を行い、役割分担して共同運営していく。

**木造住宅耐震化と子育て**

**【質問】** わが家の専門家診断事業の対象拡大と木造住宅耐震補強補助金の増額の考えは。

**【答弁】** 昭和56年5月以前の住宅の耐震化を最優先課題としており、現時点で診断事業の対象拡大は考えていない。耐震補強助成事業は、耐震補強への誘導策として適正な制度であり、増額は考えていない。

**【質問】** 福田こども園において職員間及び職員と保護者の意思疎通は図られているか。

**【答弁】** 職員間ではコミュニケーション向上に、保護者とは情報提供の充実などに努め、意思疎通は図られている。



福田こども園

**【質問】** 放課後児童クラブ増の内容と待機児童の現状は。

**【答弁】** 東部小、田原小、福田小、童洋北小で増設予定である。待機児童数は2月23日現在26人である。各小学校と調整を進め、クラブ室確保を図るとともに、学校周辺の公共施設等の活用も検討していく。

**子どものインフルエンザ予防接種の助成**

志政会 絹村和弘 議員（一括質問）

**【質問】** インフルエンザが27年を上回って大流行している。そのような状況の中、子育て世代の切実な要望としてインフルエンザ予防接種に対する費用助成がある。子どもが2人、3人にもなると費用負担は大きくなり、本来は2回接種するところを1回でいいとする家庭もある。それがインフルエンザ流行の要因の一つ

になってきている可能性もある。「子育てなら磐田」を標榜し、子育て支援を最優先に置く磐田市として、他市を参考に、インフルエンザ予防接種に対する費用助成を行うことについて、見解を伺う。

**【答弁】** 本市においては、予防接種法に位置づけられている定期予防接種の接種勧奨や周知に取り組むことが最優先と

考えており、定期接種となっていない子どものインフルエンザの公費助成は、現段階では考えていない。「子育てなら磐田」を標榜するというのは、単に負担が少なく済むことや助成がたくさんあるという位置づけだけではない。子育て世代の要望は多岐にわたる。妊娠期から、高校、成人に達するまで、たくましい若者をどうやって育てればいいのかということも踏まえて一生懸命頑張っている。

**【質問】** 県西部地区で費用助成を行っている自治体がない状況を踏まえ、磐田市から発信していく考えは。

**【答弁】** 福祉分野はできれば助成制度を含めて、県内で統一すべきとの考えがある。牧之原市から湖西市までの首長に、今回の提案について話をさせて



若い世代が家族を増やしたくなるまちづくり 子どもたちが健やかに成長するまちづくり  
新磐田 芦川和美 議員（一括質問）

**【質問】** 民間主催の婚活事業への期待と今後の補助方針は。

**【答弁】** 出会いの機会の拡大や参加者のニーズに対応したイベントの開催に期待している。今後も民間主催の婚活に対する支援を継続していきたい。

**【質問】** 市の事業に参加して男女が交流する仕組みの検討は。

**【答弁】** こうした機会も婚活につながる貴重な活動である。情報を効果的に発信するなど、交流機会を増やしていきたい。

**【質問】** 子どもが健やかに成長するまちづくり支援づくりの検討は。

**【答弁】** 妊娠・出産・子育てを包括支援づくりの切れ目のない支援の必要性が増している。今後は、保健師等の専門職を配置した包括的な支援が必要であり、その体制づくりを検討していく。

**【質問】** 子育て支援センターを活用した、マイ支援センター登録の取り組みは。

**【答弁】** 産後の継続した子育て相談等の利用につなげる効果も期待できる。子育て支援センター事業の見直しの中で検討していく。

**【質問】** 近隣市町と連携した子育ての経済的支援の検討は。

**【答弁】** 多子世帯への軽減策は効果が期待できる支援策の1つである。近隣市町と連携して進める場合には、同一歩調が取れるかどうか、使用料収入の減収などが課題である。中東遠5市1町の首長には、私から投げかけ、相談する。

**【質問】** ふるさと納税を活用し、磐田市らしさが詰まった大胆な施策が必要ではないか。

**【答弁】** 子育て世代のニーズに合った施策を継続的に実施していくことが大切である。今後も市民の皆さんで磐田の子どもを育てるという思いが1層高まるよう取り組みたい。



子育て支援センター

# 感震ブレーカーの有償配布と設置の啓発

新磐田 虫生時彦 議員（一括質問）

**質問** 阪神・淡路大震災や東日本大震災では、通電火災により、助かるはずの命をなくした多数の死者が出た。その後、通電火災対策がクローズアップされるとともに、その対策が急がれている。通電火災をどう捉えているか。

**答弁** 阪神・淡路大震災では、全出火件数139件のうち85件、東日本大震災では110件のうち71件が、電気関係の火災とされている。出火件数のうち、過半数を超える原因が電気に起因するとされているので、分電盤等で電気を遮断することは、出火防止に有効であり、この補完手段として感震ブレーカーの設置などは有効な対策である。

**質問** 感震ブレーカーの設置は重要であり、木造住宅密集



啓発チラシ

市街地に早急な取り組みが必要と考える。そこで、通電火災対策として、感震ブレーカーを各家庭へ設置することに向け、防災行政ラジオと同様に有償配布する仕組みをつくらなければならない。

## 人口変化に対する考え方 情報化社会への対応

志政会 草地博昭 議員（一括質問）

### 人口

**質問** 人口ビジョンに対する市長の率直な思いを伺う。

**答弁** 各施策を着実に実行し、一人でも多く、この地に住んでみたい、住み続けたいと思う人を増やすことで、定住人口の増加につなげたい。

**質問** 人口ビジョンに対する市民の反応と見解を伺う。

**答弁** 人口減少に関する認識を市民と共有することが何よりも重要と考える。広報に掲載する等、今後も積極的に情報提供していきたい。

**質問** 将来の見通しを若者に

つてはどうか。  
**答弁** 簡易なものも値段も安価であることから、市が配布するのではなく自助の範囲で取り組んでいただきたい。

**質問** 全世帯設置に向け、市民に啓発を行う必要があると考えるが、見解を伺う。

**答弁** 出前講座や図上訓練などで設置の啓発を行っていき

伝える方法や、ともに考え行動してもらおう取り組みを伺う。

**答弁** ヤング草莽塾や静岡産業大学の冠講座等で、本市の将来をともに考え行動してもらおう取り組みを実施していく。若者が自主的に行動する組織への支援は検討していきたい。



ヤング草莽塾

**質問** 磐田の教育で成長した若者に、教育のアドバイスを

**質問** 通電火災によって指定避難所が火災となり、指定避難所が使えなくなるおそれがある。避難所となる施設に感震ブレーカーの設置が必要であると考えますが、見解を伺う。

**答弁** 指定避難所への感震ブレーカーの設置の計画は、現時点ではないが、発災後の施設点検等により安全に避難できるようにしていきたい。

もらう仕組みはつくれないか。  
**答弁** 学校現場では、総合的な学習の時間の講師等で若者が指導する等、つながりができつつある。また、コミュニケーション・スクールを実践する中

## 委員会視察

建設産業委員会は、所管する事項を調査するため先進都市へ行政視察を行いました。(28年2月11日)

### 視察事項

(1)中小企業及び小規模企業の振興(静岡県富士市)

## 市議会ご意見ポストを設置しています

市議会は、市民の皆様の声をお聞きする「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。お気軽に、市議会に対するご意見、ご要望をお寄せください。

また、議会のホームページにあるメールフォームでもご意見を受け付けておりますので、ご利用ください。



で、徐々に学校に若者の力が取り入れられてきている。  
**情報化社会**  
**質問** 情報化計画の策定方法スケジュールを伺う。

**答弁** 庁内ヒアリングや情報化推進懇話会の提案等を踏まえ、29年3月までに策定する。

**質問** ICT関連企業の進出や起業に対する見解を伺う。

**答弁** ICT関連企業の進出や起業の促進は、技術革新にもつながり重要だと認識している。今後、シリコンバレーに職員を派遣し、新産業創出や企業の海外展開支援に向けて何ができるか、真剣に調査していきたい。

# 防潮堤整備事業 市の諸課題

きずなの会 太田佳孝 議員（一問一答）

## 防潮堤

**質問** 太田川河口部付近の防潮堤整備事業について伺う。

**答弁** 袋井市と防潮堤接合部の協議をしているが、完成高の違いから、すり合わせ等の協議を引き続き重ねる。水門から海岸までは、河川区域であり河川管理者の県に早期の整備を引き続き要望する。

**質問** 浜松市沿岸防潮堤整備による本市への影響は。

**答弁** 水位上昇が想定される天竜川河口では、県が竜洋水門の耐震化を実施している。市も31年度の完成を目標に竜洋海洋公園内で防潮堤整備を進めているため、完成後には影響はなくなると考える。



防潮堤工事の様子

**質問** 防潮堤の強度は。

**答弁** 国の指針がなく検証できない。市としては、防潮堤

の沈下を防止する地質調査、防潮堤の地震による自立を検証する安定計算、津波の侵食による安全性を検証する耐津波安全性照査を実施している。

**質問** 沈下防止の地質調査等を広報する考えはないか。

**答弁** 市民の方にわかりやすく、どのように伝えるかも研究し、前向きに検討したい。

## 課題

**質問** 2月8日、県道交差点で起きた小学生死亡事故後の通学路の検討、対処・対応は。

**答弁** 通学路の安全点検等を指示し、児童のカウンセリングを実施した。各学校では具体的な安全対策を実施する。

**質問** 歩車分離式信号の現況と導入対応は。

**答弁** 歩車分離は、交差点の歩行者保護の交通事故防止策として最も効果的な方法である。現在、JR磐田駅前の交差点2カ所に設置しているが、今回の死亡事故現場を含め新規の設置について、警察や関係機関に積極的に働きかける。

## 海岸防潮堤整備に対する市民意識の高揚

**ご意見** 海岸防潮堤整備に対する市民参加意識の高揚・増進のため、防潮堤のり面の緑化に当たっては、遊休農地等を活用して、自治会、老人クラブ、子ども会、部農会、学校及び企業等各種団体に苗木づくりを行っていただくとともに、植樹活動にも参加協力していただければいかがか。

**回答** 御提案は、市民にとっても取り組みやすい内容であり、実施されれば防潮堤に対する市民意識の向上や経費削減が図られる有効な施策だと考えます。

御意見は、市執行部に申し伝えるとともに、全議員に周知し、議会においても引き続き、海岸防潮堤整備を初めとした防災対策の充実を求めてまいります。

## 少子高齢化・人口減少対策

**ご意見** 少子高齢化・人口減少を見据え、人口増のための施策の推進、財政健全化・歳出削減を進めるとともに、プロジェクトチームを編成し協議を進めるべきではないか。

**回答** 少子高齢化・人口減少は、今後の市政運営を行っていく上で、市議会としても課題と捉えています。

こうした時代背景を踏まえ、本市では、平成27年10月、「磐田市人口ビジョン」及び「磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところです。人口増を図るための施策、財政健全化は、市執行部において総合戦略を初めとした諸施策を実施する中で取り組んでいきます。

なお、市議会では、人口ビジョン、総合戦略の策定段階において、市執行部の説明を受け、各常任委員会において調査し、提言を行いました。今後も、総合戦略の推進段階、効果検証段階において、協議を行う予定です。

## 市議会にお寄せいただいた ご意見を紹介します

市議会ご意見ポストに寄せられた、市民からの意見と回答を一部紹介します。  
(平成27年12月から平成28年3月まで)  
引き続き、皆様からのご意見をお待ちしております。



©磐田市

## 保育士の確保

**ご意見** 保育士がもっと増えたらと思う。磐田市も保育士育成の学校を作ったり、高卒でも保育士の受験が可能になるよう国へ意見を求めてはどうか。

**回答** 保育士確保は、定住人口増や子育てのまちの実現に欠かせない要素のひとつであり、保育環境のさらなる充実を図ることは大変重要な課題であると認識しています。

御意見にありました保育士試験の資格緩和は、保育分野の人材不足の現状を踏まえると一定の理解はできますが、その一方で、実際に子どもを預ける親の考え方や、大学等に入学し保育士を目指して現在頑張っている学生たちの立場も尊重する必要があると考えます。現時点では、本市議会がこの件に関して国に意見書を提出する議論には至っていません。

市議会では、保育士確保に対する市執行部の取り組みや、今後の国の動向を注視してまいります。

# 審 議 結 果

## ■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 27年度一般会計補正予算（第5号）
- (2) 専決処分（市税条例等の一部改正）
- (3) 27年度一般会計補正予算（第6号）
- (4) " 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (5) " 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- (6) " 農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- (7) " 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- (8) 28年度駐車場事業特別会計予算
- (9) " 介護保険事業特別会計予算
- (10) " 広瀬財産区特別会計予算
- (11) " 岩室財産区特別会計予算
- (12) " 虫生財産区特別会計予算
- (13) " 万瀬財産区特別会計予算
- (14) " 農業集落排水事業特別会計予算
- (15) " 公共下水道事業特別会計予算
- (16) " 水道事業会計予算
- (17) " 病院事業会計予算
- (18) 行政不服審査法施行条例の制定
- (19) 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- (20) 職員の退職管理に関する条例の制定
- (21) 消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定
- (22) 上下水道事業審議会条例の制定
- (23) 職員の再任用に関する条例等の一部改正
- (24) 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
- (25) 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- (26) 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- (27) 特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例等の一部改正
- (28) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (29) 職員退職手当支給条例の一部改正
- (30) 手数料条例の一部改正
- (31) 国民健康保険税条例の一部改正
- (32) 少人数学級編制の実施及び小中一貫教育の推進に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正
- (33) 火災予防条例の一部改正
- (34) 緊急地震・津波対策事業基金条例の廃止
- (35) 減債基金条例の廃止

- (36) 文化施設等建設基金条例の廃止
- (37) 老人ホーム楽寿荘基金条例の廃止
- (38) ふるさと・水と土基金条例の廃止
- (39) 豊岡地場産品ふれあい施設基金条例の廃止
- (40) 漁業振興基金条例の廃止
- (41) 森林整備育成基金条例の廃止
- (42) 一雲済川改修基金条例の廃止
- (43) 市における旅館建築に関する条例の廃止
- (44) ニッセの郷基金条例の廃止
- (45) 中遠広域事務組合と磐田市との間の行政不服審査に関する事務の事務委託に関する規約の制定
- (46) 養護老人ホームとよおか管理組合と磐田市との間の行政不服審査に関する事務の事務委託に関する規約の制定
- (47) 市道の路線認定
- (48) 市道の路線変更
- (49) 市道の路線廃止
- (50) 27年度一般会計補正予算（第7号）
- (51) 子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部改正
- (52) 人権擁護委員の候補者推薦の意見
- (53) 精神障害者の交通運賃割引に関する意見書

## ■賛成多数により可決された議案

- (1) 28年度一般会計予算
  - (2) " 国民健康保険事業特別会計予算
  - (3) " 後期高齢者医療事業特別会計予算
  - (4) 市立児童館条例の廃止
- ※ これらの議案は討論が行われました。表決結果はいずれも次のとおりです。  
賛成21（志・新・き・公）、反対3（共）

## ■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣について

会派名の表記（人数） ※28年3月24日現在  
「志」志政会（10）、「新」新磐田（7）、  
「共」日本共産党磐田市議団（3）、  
「き」きずなの会（3）、「公」公明党磐田（2）  
（注）議長は採決に加われません。

## 5月臨時会の予定

— 5月18日～25日（8日間） —

- 5月18日 本会議（議案の上程、説明、質疑）  
常任委員会  
19日 常任委員会（審査予備日）  
25日 本会議（議案の採決等）  
※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。また、聴覚障がい者の皆様の議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っていただきます。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

現在の委員による  
議事だよりも今号が  
最後の発行となりま  
す。1年間ご愛読い  
ただきましてありが  
とうございました。  
28年度から広報広聴  
委員会が常任委員会  
となります。より、  
市民の皆様と親しま  
れる議会だよりとな  
るよう努めてまいり  
ます。

### 編集後記

## いわた市議会だよりの 新しい名称(愛称)を募集します

市議会では、みなさんに手にとっていただき、「読んでみたい!」と思っていただけるような議会だよりを目指し、9月1日号から議会だよりをリニューアルする予定です。

そこで、新しくなる「いわた市議会だより」の名称(愛称)を募集します。

みなさんの思いを込めた素敵な名称(愛称)をお待ちしています。

**応募方法** ①名称(愛称)とその読み方、簡単な理由②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号をご記入のうえ、議会事務局へ持参、郵送、FAX、電子メールで応募してください。  
採用者には記念品を贈呈します。

**応募先・問い合わせ** 住所：〒438-8650 磐田市国府台3-1  
宛先：磐田市議会事務局  
E-Mail：gikai@city.iwata.lg.jp  
FAX：0538-37-4845  
電話：0538-37-4822

**応募期限** 平成28年5月31日必着

